



スイス連邦 Swiss Confederation



たばこ産業の特徴

1. スイスはたばこ製品の製造では長い伝統があり、Philip MorrisとJTIはスイスに国際シガレット事業の統合調整の機能を置いている。
2. 喫煙には比較的寛大であるが10年前の年間販売数量172億本から、2002年には142億本に減少している。
3. スイスはシガレットの製造・輸出国として重要な地位を占めているが、近年輸出数量はやや減っている。
2002年の輸出数量は製造数量の60%、225億本であった。
4. ヨーロッパ諸国ではライト製品の割合が一番高い。
5. トップ・ブランドはMarlboroでシェア28%。

[1] 法規制

・警告文等:

包かの側面に伊、仏、独語で、「喫煙は貴方に危害を及ぼす」を表示しなければならない。
同時にNT含有量を表示しなければならない。
添加物、成分、製造ライセンスを包かへの表示が必要。

・広告規制:

業界は自主規制している。テレビ、ラジオの広告は禁止。
映画館、ビルボードのポスター、新聞、雑誌での広告には規制がある。
未成年を対象とする出版物への広告は禁止。

・喫煙場所規制:

公共の場所としてバス、映画館、劇場での喫煙は禁止されている。
政府建物、私企業の職場での喫煙は規制されている。
他の公共の場所にはある種の規制がある。

・販売促進活動:

サンプリング、スポンサー、POP広告は規制されている。
未成年を対象としたスポンサーシップ、販売促進は禁止。

[2] 税制

- ・ たばこ製品は連邦法により特別税が課税されている。
徴収された税金はAVS（遺族及び老齢年金生活者）への資金提供とAI（疾病保険）に使われる。
- ・ 小売り価格の60%が税金。
メーカー取り分は24.5%、流通販売が15.5%。
- ・ 物品税は25%である。

[3] 喫煙者プロフィール

成人（35～74歳）喫煙率（2000/2001年） 若者（15歳）喫煙率（1997/1998年）
男性 26.9% 女性 24.0% 男 25% 女 25%

[4] 市場概要

- ・ スイスはたばこ製品の製造では長い伝統があり、Philip MorrisとJTIはスイスに国際シガレット事業の統合調整の機能を置いている。
- ・ 10年前の年間販売数量172億本から、2002年には142億本に減少している。
アメリカと異なり喫煙には比較的寛大であるが、消費量は減っている。
- ・ フィルタ付きは99.9%以上であり、ライト製品が国内で地位を固めつつあり、2002年に国内で販売されたシガレットの75%以上がタール10mg未満であった。
フルフレーバー製品は急速に減っている。
- ・ スイス国内は観光客とヘビースモーカーの外国人労働者にかなり依存している。
しかし 国内の失業率上昇による彼らの帰国と、スイスフランが強くなったことで観光客の購買力の減少で、売れ行きが減っている。
- ・ スイスはシガレットの輸出国としての地位を占めているが、輸出数量はやや減っている。
しかし、スイスは依然として国際たばこメーカーの戦略上重要なロケーションを占めている。
2002年には製造数量の約60%、225億本が輸出された。
輸入品は消費数量の約1.4%である。
- ・ トップ・ブランドの順位はかなり安定しているが、これは喫煙者の製品に対するロイヤルティが高いためである。
- ・ スイスの葉巻輸出量は1997年の3,000万本から、2002年には2,100万本に減っている。
国内消費量も同じ期間に1億6,500万本から1億5,800万本に減少。
スモッキングたばこは1996年の207トンから2002年には161トンへと減っている。

シガレット統計データ（単位 100万本）

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
製造数量	37,550	37,550	37,550	37,550	37,550
輸出数量	17,223	20,091	19,030	22,508	na
輸入数量	200	200	200	200	200

年間消費量の変化（単位：合計消費量は100万本）

	1970年	1980年	1990年	1995年	2000年
本/人当たり	3,461	3,696	3,064	2,928	2,809
合計消費数	16,322	18,745	17,406	17,271	16,785

シェア・データ

	2002年	2001年
消費量	142億本	142億本
フィルタ付きシェア	99.90%	98.90%
メンソール製品シェア	1.90%	2.00%
Philip Morris シェア	47.50%	47.40%
BATシェア	40.00%	39.40%
JTIシェア	9.30%	9.70%
主要製品シェア%		
Marlboro	28.0	27.5
Parisiene	12.5	11.6
Camel	6.4	7.0
Dunhill	1.0	1.0

（出典 Maxwell Report）

[5] 製品概要

- ・ スイスの主要ブランドはMarlboroで市場シェアは28%である。
第2位はBATのParisieneでシェアは12.5%。
第3位はJTIのCamelで6.4%。
- ・ ヨーロッパ諸国でスイスはライト製品の割合が一番高い。
2000年に販売されたシガレットの中でタール10mg以下の製品の割合は73.9%、2001年には74.6%に増えている。
- ・ スイスでは女性の喫煙率が上昇しているため、今後もライト製品が増えるものと思われる。

主要ブランドのシェア：

Marlboro	28.00%
Parisiene	12.50%
Barclay	8.40%
Philip Morris	7.10%
Camel	6.40%
Muratti	6.00%
Select	5.60%
Mary Long	5.30%
Brunette	3.80%

平均製品小売り価格（2002年 出典EIU:2002/9）：

国内ブランド	3.27 USドル
外国ブランド	3.27 USドル

[6] 企業概要

Philip Morris Products SA (PMP SA) :

前身はFabriques de Tabac Reunies(FTR)でありPMが買収した。
スイス国内と輸出向けの製品を製造する最新工場がある。
ヌーシャテルは製造、財務、人的資源、エンジニアリング、R&D、品質保証のセンターになっている。
PMP SAには約1,200人が働いている。
スイス国内でPMI製品のマーケティングと流通販売を担当しているPhilip Morris SA(PM SA)がある。
従業員は170名。
世界的なたばこ事業をスイスで統合調整しており、PMIの本社はローザンヌにある。

F.J.Burrus SA (BAT) :

スイス唯一の国営製造会社であったがRothmansが買収した。
シガレットとパイプたばこを製造。シェアは43.2%。
ブランドとしてはParisiene、Barclay、Select、Mary Longがある。

JT International A.G. :

工場はDagmersellenにある。
主要ブランドはCamel、Winston。シェアは9.3%。
世界的なたばこ事業をスイスで統合調整しており、JTIの本社はジュネーブにある。

Burger Sohne AG Burg :

BurgとReinachで葉巻とシガリロを製造。

Eichenberger & Erismann AG :
Beinwil am Seeで葉巻とシガリロを製造。
Fabbrica Tabacchi Brissago SA :
Brissagoで葉巻とシガリロを製造。

[7] 流通

約30年前はスイスの製造メーカーはカルテルを結成していたが、現在ではスーパーマーケットなどで自由な値段で販売出来る。

[8] 葉たばこ概要

スイスは少量の葉たばこを生産している。産地は国内西部である。